

静岡県立 下田高校 1年生 石垣祐樹君

(2010年8月1日～3週間コース ガーディアン先生付きプラン)

CPILS での英語研修を終えて

夏休みを使い、3週間 CPILS で学び思った事感じたことは、
案外英語は単語をしゃべっていれば伝わるものだと思います。
自分の経験ではスナックバーでコーラがほしいときにややこしい単語など使わず「コーラプリーズ」だけで伝わってしまいます。
だからものを買うときは苦労しませんでした。生活面ではまず水に気がつけたほうが良いと思います。
蛇口の水やシャワーの水は飲まないほうが良いです。水のことは本当に不便でした。また自分なりにませでしたが空気中の水蒸気を吸い込んで、おなかを壊す例があるので売店でスポーツドリンクを買うと良いです。夏休み時期には、他国の学生たちと英語の勉強以外でダンスや水泳のレッスンを受けることができたが、日本からの夏休み宿題があるので、毎日やることが多く、精神的に強い人でなければ自分のように体調を崩すこともあります。かと言って断ろうとすれば日本人の人は後ろめたさが残り、自分は断るのはつらかったです。勉強面では日本と違いスピーキングが中心でした。日本のようにテキストを使った文法や読み書きの勉強方法とは違いました。会話が本当に出来るようになりたいと思っているのなら長期滞在をしたほうが良いとおもいます。自分でも2週間目に先生の言っている事がわかってきていたので長期滞在をすればおそらく話せるようになるとおもいました。

